



大先輩、東谷先生の死を悼む

元大阪教組委員長 篠浦 一朗

元大阪教職員組合中央執行委員長で全日本新進代表世話人などを務めた東谷敏雄さんが4月10日死去されました。享年90歳。元教組委員長篠浦一朗さんに追悼文を寄せてもらいました。

私たちは東谷敏雄先生という、かけがえのない大先輩・指導者を失いました。東谷先生は、敗戦後、教職員組合の結成に努力され、1947年、「日教組」結成と同時に中央執行委員・

情宣部長として活躍されました。その後、1951年から84年まで、大教組の書記長、中央執行委員長を務められました。この間、戦争で荒廃した学校の再建、低賃金で食うや食わずの教職員の生活・権利・労働条件の改善をはじめ、民主教育の推進、平和・民主主義の確立のために奮闘されてきました。

退職後も、全国と大阪の革新懇・非核の政府の会代表委員として、政治の革新、核兵器廃絶などの活動を通じて、大先輩の大きな役割を果たしてこられました。

東谷先生との出会いは、1958年の勤評闘争と60年安保闘争、とりわけ黒田革新府政の確立と継続の闘いでした。1971年に「公害知事さんさようなら、憲法知事さんごめんね」を合言葉に、黒田革新府政を確立し、2期8年、65歳以上の老人医療無料化や、府立高校24校の増

設をはじめ、能勢ハイキ基地設置阻止など府民の願いをつぎつぎに実現してこられました。大教組がこの黒田革新府政推進の重要な役割を担った事は言うまでもありません。ところが、当時の大阪の社会党と総評などが「反共」で自民や財界と手を組み、黒田府政打倒の側に参画したのです。この時、社会党府委員長黒田徳治さんと総評副議長であった東谷さんは断固として黒田府政を支持さ

れ、革新統一の立場を貫かれたのです。部活解放同盟の教育現場への暴力的介入や「教師・教育論」論争など困難な問題もありましたが、東谷先生は組合の団結を一貫して大切にされてきました。また、長生きされて、時には指導もいたされたことが、心からの哀悼の意を表し、お別れの言葉とします。

政党選択の基準・決め手は

- 1 大企業・財界にハッキリとものがいえる政党かどうか**
○大企業の利益最優先から国民のくらしを最優先に改める
○大企業の大儲け(220兆円をこえる内部留保)の一部を社会に還元する
○教育・福祉・社会保障を充実させる政治に
- 2 アメリカにもはつきりものがいえる政党かどうか**
○日米合意を撤回し、普天間基地は無条件撤去へ
○憲法9条を守る政治を
- 3 「政治とカネ」の問題―企業・団体献金きっぱり禁止を主張、疑惑解明できる姿勢を持っている政党かどうか**

主な新党の政策・主張は

- みんなの党**
- ・「小泉改革」を「中途半端」として、いっその「構造改革」一推し
 - ・国家公務員10万人削減、道州制導入(昨年の総選挙マニフェスト)
 - ・改憲派の集会(新憲法制定推進大会)に党代表があいさつ予定
- たちあがれ日本**
- ・自民党と同様に「自主憲法制定」を明記(綱領)
 - ・「消費税率引き上げ」「日米同盟基軸」を主張(結党宣言)
- 乱立 新党**
- 自民党政治とどこが違うの?**
- 首相交代など激変する国政のもと、いよいよ参議院選挙が近づいてきました。大阪では、橋下知事の子供が笑うこの嘘で塗りこまれたスロー

算数科の中で図形教材は指導時間も少なく、小学校に入学するまでの積み上げてきた過程が違い、すぐその力が発揮されるとは言いがたい。高学年での子どもの図形教材の理解の差が大きいので、よりわかる手立てがないだろうかと思え、折り紙を算数教材にいかすことにした。教科書にも最近折り

私の教育実践

折り紙で算数

―図形教材の理解のために―

土井 敬子さん(枚方・明倫小学校)

- 1. 低学年で折り紙を算数教材に**
紙を使っての考え方が載っていたり、時間数の少ない図形教材は理解も不十分になりやすいので、折り紙を使って楽しく指導したい。
- 2. 高学年で折り紙を算数教材に**
楽しみながら折る時間は取れないので、グループで分擔して取り組んだり教師が提示したりして考えを確かめるために折り紙を使うと効果的である。例えば三角形の面積を求める時、子どもたちに三角形の紙を何枚か渡して、おき、今までに習った長方形や正方形にして面積を求める方法を何種類か考えさせる。公式は「覚えて使うもの」から「見つけ出すもの」として捉えられるようになり、定着するようになった。折り紙で折った図形は確かめながら学習でき、その色彩はわかりやすくする助けにもなる。

- 公約はどこにいったの?**
- 迷走、逆走する民主党政権**
- 普天間基地問題**
- 公約 「移設先は国外、少なくとも県外」
実際 迷走のあげく「日米合意」を優先、結局沖縄・徳之島に押し付け
- 労働者派遣法改正問題**
- 公約 「製造業への派遣は原則禁止」
実際 法では「禁止の例外」で80%は派遣が存続
- 後期高齢者医療制度問題**
- 公約 「すぐ廃止」
実際 検討では4年後に先送り。しかも後期高齢者扱いを75歳から65歳に引き下げ

参院選特集

国民の願いを実現する新しい政治へ

「政治を変えてほしい」という国民の強い願いに背を向け、公約違反、迷走・逆走を続けたことへの国民的な批判の高まりが、鳩山首相を辞任に追い込みました。菅新内閣が発足しましたが、「普天間」「政治とカネ」などへの真摯な反省なしでは、「クリーンな政治」や新しい政治は生まれません。今度の参議院選挙では、これまでの大企業・アメリカ優先の政治から抜け出し、沖縄県民・国民の願いを大切に新しい政治への転換が強く求められています。

VOICE

賢い選択を

馬場 史章さん
(大阪市東区小学校)

首相交代など激変する国政のもと、いよいよ参議院選挙が近づいてきました。大阪では、橋下知事の子供が笑うこの嘘で塗りこまれたスロー

30年ぶりに学級編成の改善を検討



「40人学級を引き下げ」と報じられる学級編成と教職員定数の改善への検討が、やっと開始されました。長年の運動がつくりだした重要な到達点です。この流れをさらに前へ進め、いまこそ国の責任で30人学級、教職員定数増を実現する時です。この間一貫して、30人学級と教職員定数増を求め、政治を動かしてきた勢力の躍進で、教育条件の抜本的改善、教職員の願いを実現させましょ

公立高校の授業料不徴収など、教育無償化へ歩みが始まりました。その一方で、迷走と混沌の教職員免許更新制、命を削ぐような長時間過密労働の教育現場、「教育に穴が開く」

VOICE

切実です！ 教育条件改善の願い

斉藤 優さん
(府立平野高校)

学校でいま何が足りないかと問われれば、人とモノです。業務は残業なしでは終わらない量になっていきます。講師の割合が高く最低3年間というスパンで先を見通せる教

職場で教育と政治を語りあおう

憲法は、国民主権の立場から、参政権を国民固有の権利(15条)として保障するとともに、思想・良心の自由を謳っています。これは公務員にも適用されるべきものです。職場で、子どもと教育を語るなかに政治の話題も織り込み、大いに語りあうことをよびかけます。

学校現場は長時間過密労働が蔓延し、教職員の健康破壊が広がっています。現場の青年や教職員は「あつた、あつた」と仕事を続けられるだろうか」と深刻な不安を抱えています。

長時間過密労働の解消へ踏み出そう



で教職員の勤務時間を適正に把握させることは、その出発点となる判断し、府教委との協議をすすめてきました。

府教委が「勤務時間把握」を通知

府教委は6月24日、府立学校長と市町村教育委員会に対し、「勤務時間の適正な把握のための手続等」に関する通知を、6月1日より府立学校の実施、市町村立学校の早期導入をめざす考えを示しました。